

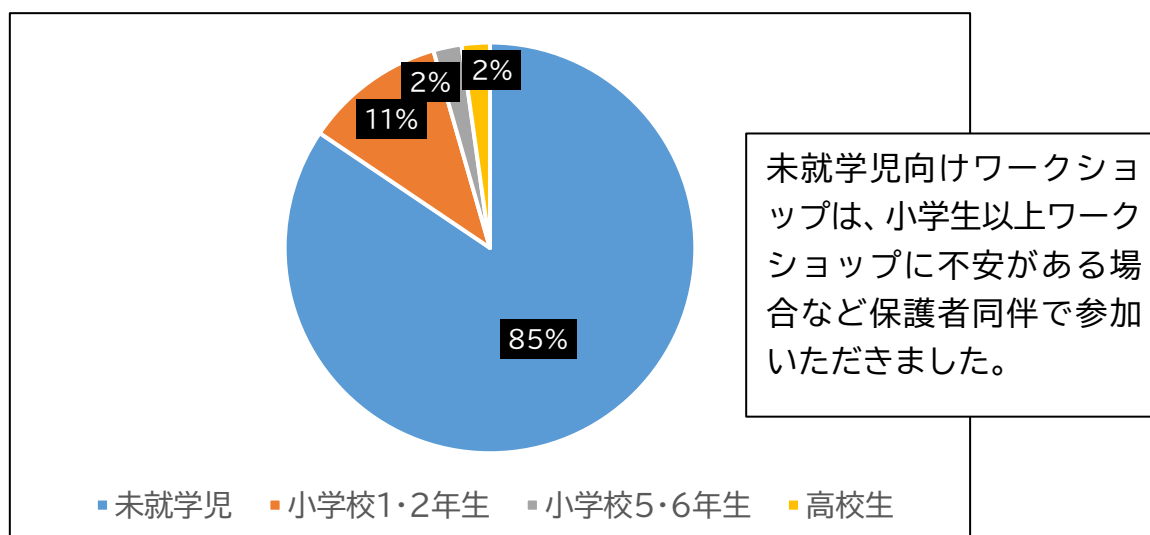
## アンケート結果（未就学児向けワークショップ編）

今後のイベントの参考にするため、こどもたちとえがく市役所ガラスアートプロジェクト未就学児向けワークショップ参加者へ電子アンケートを実施しました。

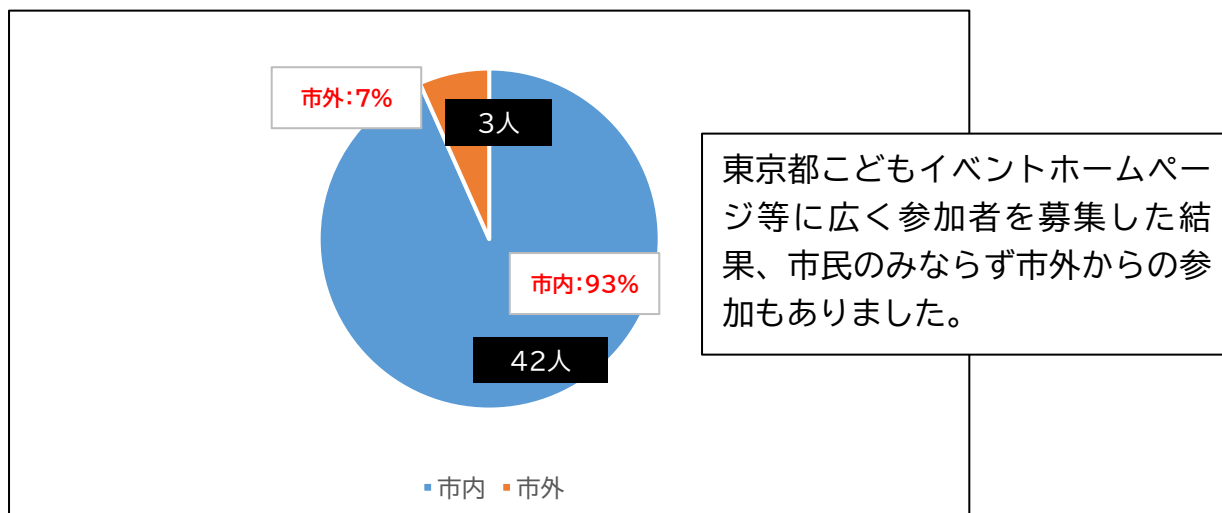
調査期間	令和8年3月20日（金・祝）～3月21日（土）
参加者数	110人
有効回答数	45件
有効回答率	40.9%

問1 あなた（お子さん）の年齢（学年）を教えてください。

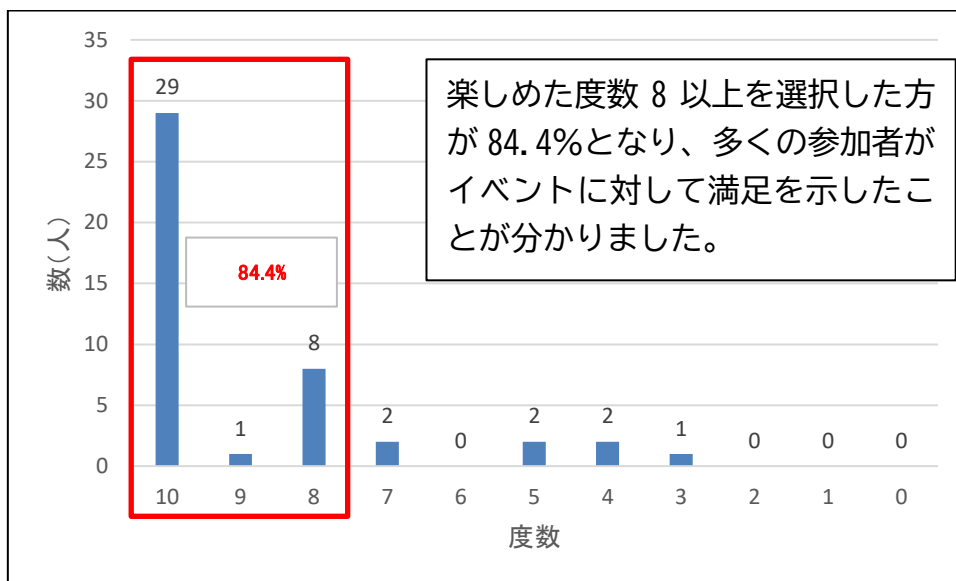
<回答者数：45人>



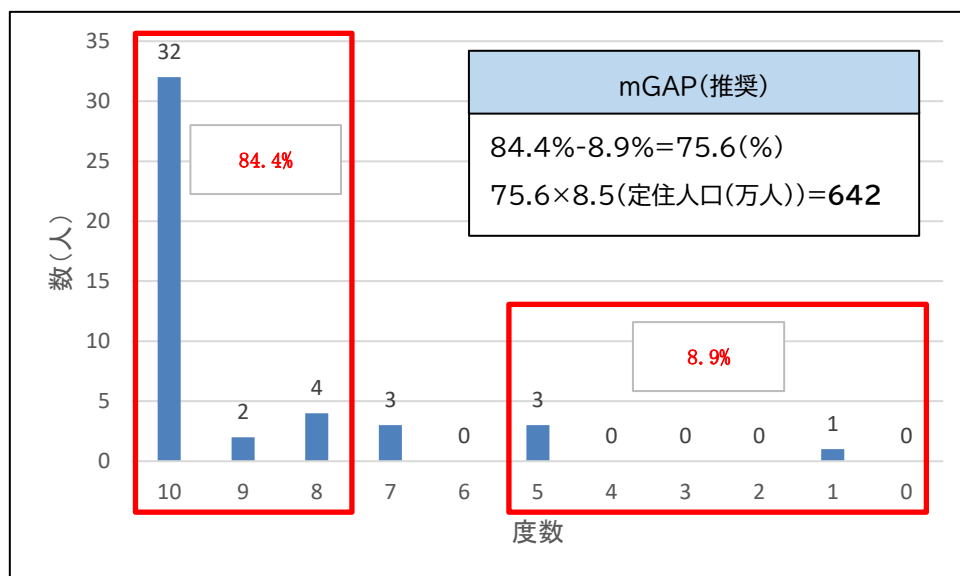
問2 あなた（お子さん）のお住まいを教えてください。<回答者数：45人>



問3 あなた（お子さん）は、このイベントを楽しめましたか（楽しめた度数を選択）  
 <回答者数：45人>

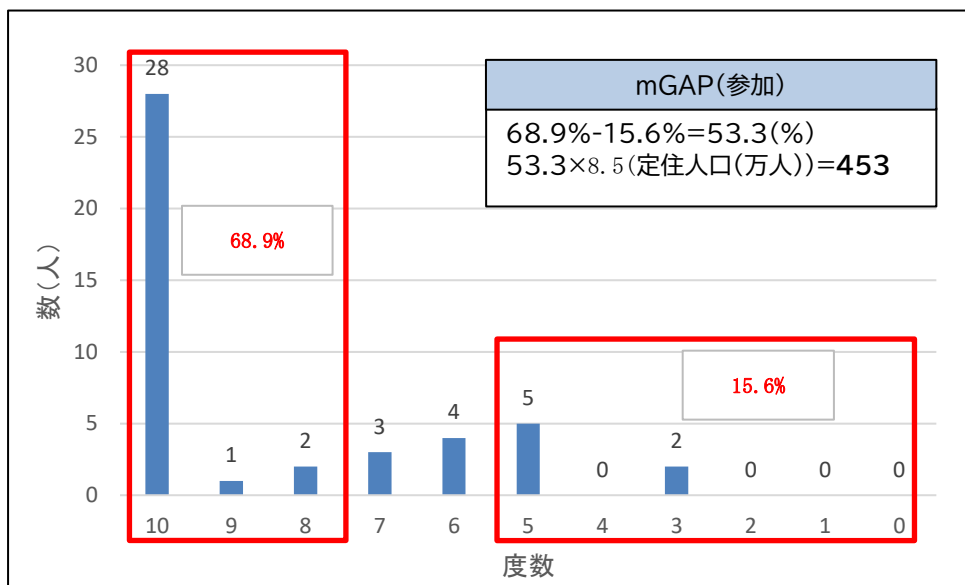


問4 このイベントをお友達におすすめしたいですか（おすすめ度を1つ選択）  
 <回答者数：45人>



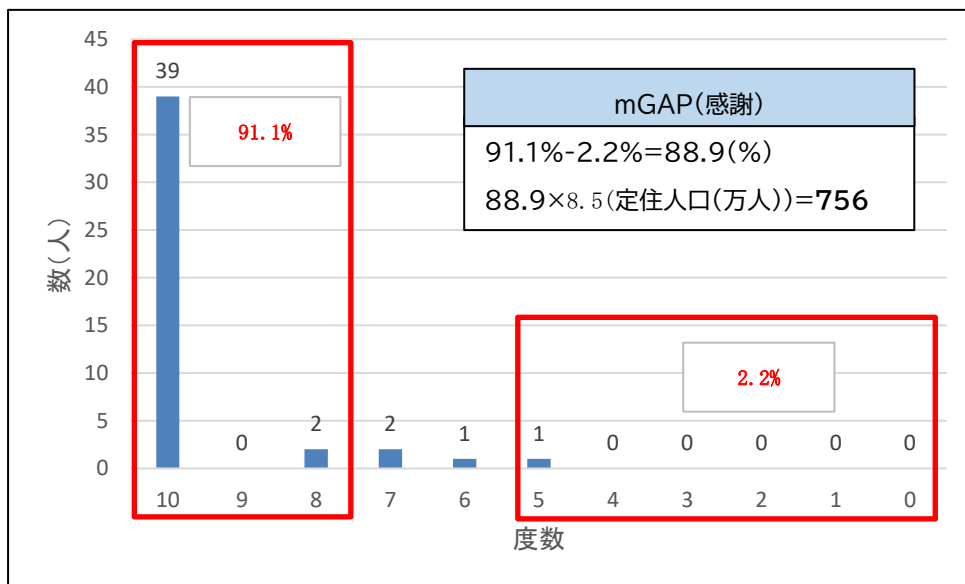
問5 市を良くするために、イベントに参加したり・活動に参加したいですか（活動意欲度を1つ選択）

<回答者数：45人>



問6 市をより良くするために活動をしている人に感謝の気持ちを表すとどの程度ですか（感謝度を1つ選択）

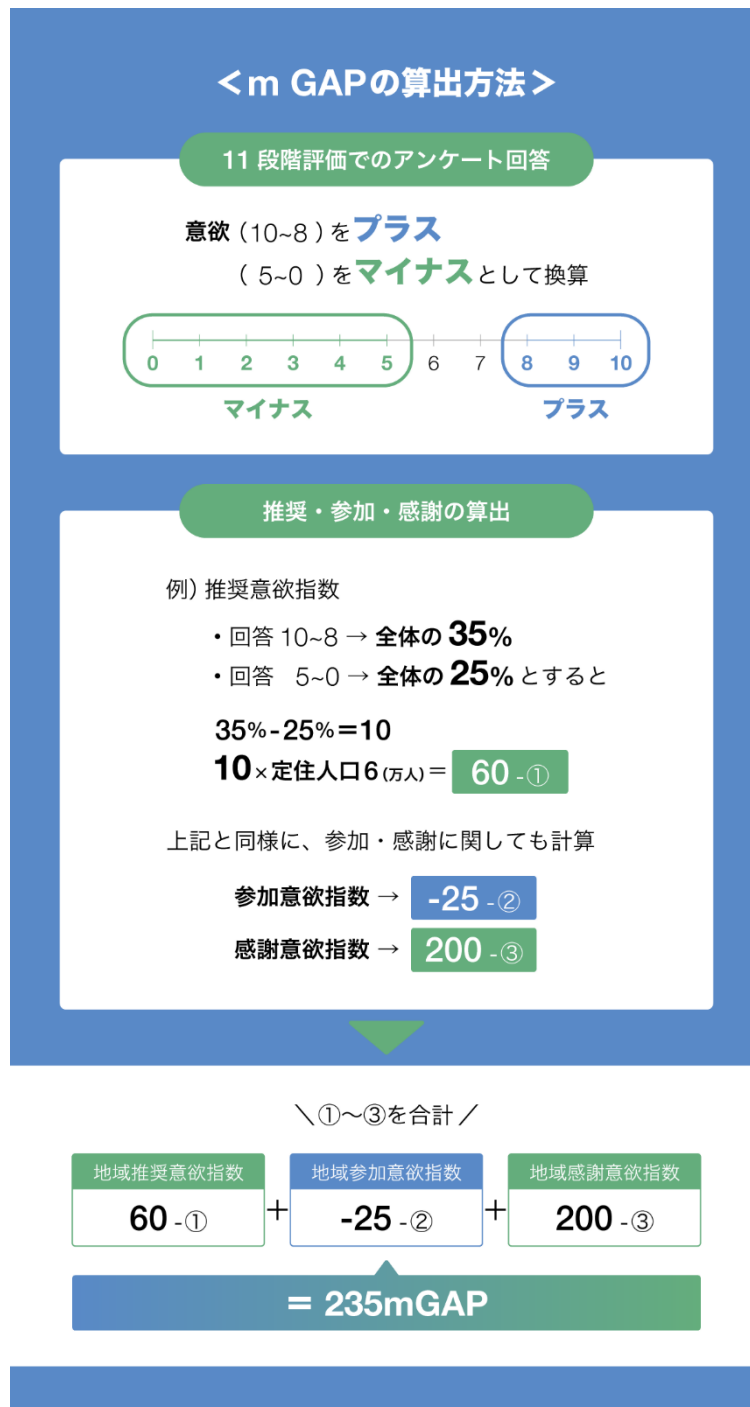
<回答者数：45人>



mGAP(総数)
642(推奨) + 453(参加) + 756(感謝) = 1,851

推奨・参加・感謝いずれも高く、指数の総計は1,851となりました。

※mGAP(修正地域参画総量指標)による指標について  
 シティプロモーションの活動効果を定量的(数値)に可視化できる評価手法であり、「地域の推奨意欲」・「地域活動への参加意欲」・「地域活動への感謝意欲」の3要素でアンケート調査を実施し、調査結果から mGAP ポイントが算出されます。各度数のうち、10~8を上位とし、5~0 を下位とします。上位から下位を引いた数値に人口(当市であれば 8.5)を乗じた数値が mGAP 指数となります。mGAP 指数を経年で比較することによりシティプロモーション活動の活動効果を測定することが可能になります。



日本都市センター「シティプロモーションによる地域づくり-「共感」を都市の力に-第 14 回都市政策研究交流会」はしがきから引用

問7 最後に、このイベントに関するご意見やご感想がありましたら記入してください(回答任意)

<回答者数：30人>

1. イベント全体への満足・感謝

- ・「とても楽しかった」「貴重な体験だった」「良い記念になった」などの満足の声が多数
- ・市外参加者からも「参加できて嬉しい」「東大和市に来た時に見に行きたい」などの好意的な意見
- ・「市のあたたかさを感じた」「未来につながる活動で良い」など、イベントの意義を評価する声

2. 子どもが楽しめた・良い思い出になった

- ・「子どもが喜んで」「良い思い出になった」
- ・「2歳でも楽しめた」「3兄妹で参加できた」など幅広い年齢層での参加
- ・「自分の手形が市役所に残るのが嬉しい」という子どもの声も複数

3. 記念として残ることへの喜び

- ・「5年間飾られるのが嬉しい」「成長と合わせて見られるのが楽しみ」
- ・「市役所に来るたび見たい」「タイムカプセルのようで良い」
- ・「世代をつなぐ作品になる」という長期的価値を感じる意見

4. スタッフ・運営への評価

- ・「先生が丁寧でありがたかった」「子どもに寄り添ってくれた」
- ・手形を嫌がった子どもや車椅子の子どもへの柔軟な対応を評価する声
- ・絵の具の説明や進行が「わかりやすい」「親切」との意見

5. 東大和市への愛着・地域とのつながり

- ・「東大和市のイラストが嬉しい」「ブタ公園のブタに再会できた」
- ・「市とのつながりを感じた」「市外だけど応援したい」
- ・「ふるさと納税で協力したい」という声もあり、地域愛の広がりが見られる

6. 改善要望・今後への期待

- ・「小学生向けの切り絵を未就学児でもできる簡単版があると良い」
- ・「子ども主体のイベントをもっと開催してほしい」
- ・「5年しか残らないのは少し残念」
- ・「自分でも色を塗りたい」「(小学生以上のワークショップに参加したかった)」という子どもの声
- ・「多様な人が参加できるイベントを今後も」などの要望

7. その他の意見

- ・「電子アンケートが良かった」
- ・「ガラス職人の名刺が記念になった」
- ・「親戚に自慢した」など、イベント後の行動につながる声も

○全体まとめ

参加者の声は概ね肯定的で、「楽しかった」「記念になる」「市とのつながりを感じた」という3点が特に強く表れています。

今回のアンケートにおける mGAP 指数はいずれも高く、特に地域活動への感謝度数が最も高かったことから、イベントを実施することによる参加者の地域への愛着醸成(シビックプライドの醸成)に寄与したと捉えられます。今後も市主催のイベントの際には mGAP 指数を用い、ブランド・プロモーションの効果を可視化することで、地域の魅力を向上させていきます。